

名古屋大学医学部附属病院

常勤医として、各施設の指導医の指導のもと、精神科救急症例、行動制限症例、地域医療症例を中心に臨床経験を積む。各施設は地域の精神科医療において中心的な役割を担っており、地域医療を経験することができる。ただし研修プログラムは、社会的ニーズや医療情勢に応じて、適宜改定が行われる予定であり、大学研修の期間を適宜変更することもありうる。

なお、連携民間精神科病院の研修先を選択する際は、専攻医の希望が優先され、専攻医同士で希望が重複した場合などに調整を行うことはあるが、当科から研修施設を指定することはない。



□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学精神科・児童精神科専門研修プログラム

【研修目標】

患者・家族の感情体験の正当性（健康面）を承認(validation)し、適応的な側面を支持強化する能力、問題解決能力、根拠(証左)に基づいた医療を行う能力、協働する能力、高い倫理性を備えた精神科領域専門医を目指す。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

基本的には基幹施設である名古屋大学医学部附属病院で行われる2年間の前期大学病院研修と、連携施設である公的精神科病院・一般病院・民間精神科病院で行われる3年目以降の後期連携施設研修からなる。

前期大学病院研修中には、指導医と主治医グループとして診療にあたるだけでなく、多職種とのチーム医療を実践する。抑うつ症、双極症、統合失調症、摂食症、認知症、睡眠障害、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症等の多様な精神疾患について、診断および治療を学ぶ。さらに、コンサルテーション・リエゾン精神医学の経験を多く積むことができる。多様な専門性を有する精神科専門医・指導医（13名）、精神医学研究者による、専攻医向けセミナー、研究遂行に必要なノウハウを学ぶセミナーなど多様で充実した教育機会を計画的に実施している。

後期連携施設研修では、連携公的精神科病院2施設・民間精神科病院25施設を中心とした研修を行う。これらの施設は全て病床を持ち、閉鎖病棟や隔離室などの設備も備えている。3年目専攻医は、これらの施設の

□ 主な連携施設

愛知県精神医療センター、国立病院機構東尾張病院、愛知県精神保健福祉センター、あいち小児保健医療総合センター、愛知県医療療育総合センター、安城更生病院、西尾市民病院、大同病院、あいせい紀年病院、桶狭間病院藤田こころケアセンター、笠寺精治療病院、可知記念病院、刈谷病院、北津島病院、京ヶ峰岡田病院、共和病院、仁大病院、精治療病院、松蔭病院、松崎病院豊橋こころのケアセンター、南豊田病院、もりやま総合心療病院、八事病院、大垣市民病院、大垣病院、岐阜病院、聖十字病院、国立病院機構神原病院、総合心療センターひなが、多度あやめ病院、北勢病院、松阪厚生病院、静岡済生会総合病院、朝山病院、三方原病院、日赤名古屋第一病院、三河病院、愛知県三河青い鳥医療療育センター、豊田市こども発達センターのぞみ診療所

□ メッセージ

指導医（教授 池田 匡志）

真摯な姿勢で患者、家族のニーズを捉え、最適の医療を提供することを心がけています。精神疾患を抱える方に寄り添いながら、診療も研究も行える人材を育成したいと考えております。児童から老年期に渡る幅広いエキスパートが揃っておりますので、安心して研修が提供できると自負しております。



□ 募集要項

・採用予定人数	10-20人
・給与／月額	月額約22万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数／月	約4-6回／月 （専攻医数及び連携民間精神科病院による）
・当直料／回	20,000円／回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週1日まで）可
・応募連絡先	担当者 木村 大樹（教室医局長） 電話番号 052-744-2282 Eメール psychiatry@med.nagoya-u.ac.jp